

ワイルドフラワー (1991)

WILDFLOWER

メディア TVM

ジャンル ドラマ ロマンس

製作国 アメリカ

時間 94分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

ドキュメンタリー「ウェルカム・トゥ・ヘヴン」(87)以来、監督業も手掛ける女優D・キートンのCATV用作品だが、名手カミンスキー(「シンドラーのリスト」)撮影の好サポートもあって、劇場にかけても遜色ない佳作となっている。

舞台は南部の田舎町、主人公の少女は重度の難聴で、継父に邪慳にされ鶏小屋に閉じ込められていた。その唸り声は近所の子供たちに幽霊の声と恐れられたが、隣家の娘はある日実態を知り、兄と共に時折、彼女を連れ出しては言葉を教えながら仲よくなった。知識欲の塊の彼女の吸収力はすごく、兄妹は彼女を引き取って学校にもやりたいと思うのだが、少女の母は夫の虐待を恐れて、うんとは言わない。妻を亡くしてから塞ぎがちの兄妹の父も、“他人に干渉するな”と拒絶する。だが、継父の怪我をきっかけに少女は兄妹の家に迎えられ、頑なだった父の気持ちも和ませる。やがて、兄は奨学金を得て町の大学に進む。彼は少女に思われていることを勘づいてはいたが、彼女の障害を気に病んで、自分も好きなのに受け入れられずにいる。そして、復活祭で帰郷したダンス・パーティの夜、彼は美しく装った彼女にすっかり魅了され、そこへ乱入してきた継父に厳しく言い放つ毅然とした姿に心うたれるのだった。

少々「ネル」に似た所もある野性の少女の成長譚だが、キートンは、野バラと戯れる少女を思いきり乙女チックに撮ったりして、ファンタジーのムードを強めている。少女のP・アークエットが素晴らしく、兄妹の父役のブリッジスも好助演。

【クレジット】

監督	ダイアン・キートン	Diane Keaton	
製作	キャロル・ニューマン	Carroll Newman	
製作総指揮	リチャード・フリード	Richard Freed	
	アイラ・F・ローファー	Ira E. Laufer	
	ジュディス・A・ポローン	Judith A. Polone	
原作	サラ・フラニガン	Sara Flanigan	
脚本	サラ・フラニガン	Sara Flanigan	
撮影	ヤヌス・カミンスキー	Janusz Kaminski	
編集	スティーヴン・E・リフキン	Stephen E. Rivkin	
音楽	ジョン・ギルティン	Jon Gilutin	
	ケニー・エドワーズ	Kenny Edwards	
出演	パトリア・アークエット	Patricia Arquette	アリス・ガスリー
	ボー・ブリッジス	Beau Bridges	ジャック・パーキンス
	ウィリアム・マクナマラ	William McNamara	サミー・パーキンス
	リース・ウィザースプーン	Reese Witherspoon	エリー・@アーキンス
	スーザン・ブレイクリー	Susan Blakely	エイダ・ガスリー
	コリン・ウィルコックス・パクストン	Collin Wilcox Paxton	
	リチャード・K・オルセン	Richard K. Olsen	